
御伽噺

紅 智識

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

御伽嘶

【ZPDF】

Z9532

【作者名】

紅智識

【あらすじ】

これは悲しい御伽嘶。

(前書き)

えーとはやくも神に殺された少年のネタが無くなつたので
逃げました。

在るところに少年がいました。

少年はとても真面目でした。

あるとき少年は、罪を犯しました。

少年は以後、偽善者といふ名の罪滅ぼしをしました。

少年が、偽善者だということを知るものは誰もいませんでした。

神様を除いて・・・。

神様は少年のやつている事を見て樂しました。

しかし、神様は少年に罰を科しました。

それはとても残酷なモノでした。

少年は、それでも偽善者であり続けました。

少年は磨耗していました。

そして、あるとき少年は助けた人々に裏切られ殺されました。

しかし、少年はその人たちを恨みませんでした。

少年が、恨んだのは過去の自分。

罪滅ぼしのために偽善者となつた自分を恨みました。

少年は、この世を去りました。

少年は、安らかに眠りました。

しかし、死んだはずの少年はたまに顕れて・・・

たまに顕れて、偽善とこう答の罪滅ぼしを、今でも続けている
そうです

(後書き)

黙文でスイマセン。
最後まで読んでいただき有り難うございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9532/>

御伽噺

2011年2月2日19時29分発行